

緑風

山古志フィールドミュージアム構想について
みどりの復興シンポジウム

試験植栽を実施して
公共緑地災害規定

あゆみ・生活・山河花園

緑が護る・緑を守る



10月3日 祈念植樹(虫亀地区)

十月三日、山の再生を祈り、虫亀地区の災害復旧工事現場で祈念植樹しました。
かけがえないふるさとへの復興の願いを込め、同地区の復旧工事を担当する県職員 森章さんが、昨年秋季に工事現場近くのブナ林に落ちていた種を集め、育てた苗木二百本も使い、ブナやオオヤマザクラ、ムギなど三百二十本を、住民のみなさんと一緒に、一本一本ていねいに植え付けました。
今後、私たちは地域唯一のみどりの公益法人として復興がよりスムーズに、しかも持続可能な景観の創出 保全に向けて全力を傾け支援していきたいと思えます。

みどり豊かなふるさとの復興と発展を願って

震災復興 景観から!

復興を考えるシンポジウム「緑が護る・緑を守る」が10月19・20日長岡リリックホールで開催されました。中越震災から2年を前に、ランドスケープの視点から、山古志地域での、具体的な復興案をベースにして、活発な意見が交わされ、大会宣言を全国に向け発信しました。



10月20日 現地視察(油夫地区)